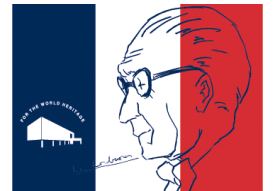


世界遺産登録推進NEWS



国立西洋美術館を世界遺産に！

For The World Heritage!



【発行】2013(平成25)年2月 台東区世界遺産登録推進室 Tel.03-5246-1082

生涯学習センターでパネル展を開催します！

2月23日(土曜日)から3月7日(木曜日)まで、生涯学習センター(台東区西浅草3-25-16)1階アトリウムで「国立西洋美術館を世界遺産に！～ル・コルビュジエ建築のキーワード～」をテーマとしたパネル展を開催します。

今回のパネル展では、国立西洋美術館や建築家ル・コルビュジエの建築作品のキーワード、海外にある彼の建築作品の紹介を行います。また、DVDの放映、各種パンフレット等の設置も行っておりますので、ぜひお立ち寄りください。



前回のパネル展の様子

お知らせ 国立西洋美術館を紹介する番組が放映されます！

2月25日(月曜日)から3月3日(日曜日)まで、ケーブルテレビ下町You・Iチャンネルの生活便利帳コーナーで「世界遺産登録を目指して～国立西洋美術館～」(5分間番組)が放映されます。

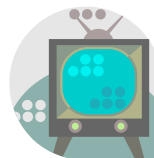
放映時間は以下のとおりです。(各日4回放映)

【①9時15分～、②13時15分～、③17時15分～、④21時15分～】

番組では、国立西洋美術館を設計した建築家ル・コルビュジエをもとにしたオリジナルキャラクターの「コルビおじさん」が登場し、国立西洋美術館の見どころを紹介してくれます。

ぜひお見逃しなく！

みんな
見てね！



コルビおじさん



国立西洋美術館からのお知らせ

詳しくは <http://www.nmwa.go.jp/> へ

■日本初の「ラファエロ」展が開催されます！

3月2日(土曜日)から6月2日(日曜日)まで、「ラファエロ」展が開催されます。

イタリア・ルネサンス(15～16世紀)を代表する画家ラファエロの20点を超える作品とラファエロの周辺で活動した画家たちや彼の原画による版画、それを図案化した工芸品等に至るまでを併せ、計約60点が国立西洋美術館に展示されます。ラファエロの最高傑作の一つ「大公の聖母」(フィレンツェ、パラティーナ美術館所蔵)も日本で初めて公開されます。

ぜひこの機会にご覧ください！

展覧会特設サイトはこちら→<http://raffaello2013.com/>

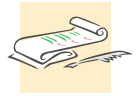




世界遺産ってどんなもの? ~登録プロセス編~

各国政府

- ①世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約（世界遺産条約）を締結
- ②国内の世界遺産暫定リストを作成し、ユネスコ世界遺産センターに提出
※世界遺産条約の締約国が世界遺産リストへ登録することがふさわしいと考える、自国の領域内に存在する資産の目録（リスト）
- ③暫定リストから準備の整った資産を推薦【毎年2月1日期限】



ユネスコ世界遺産センター

- ④推薦資産の審査を諮問機関に依頼
文化遺産候補・・・国際記念物遺跡会議（ICOMOS）が審査。ICOMOSは、文化財の保存、修復、再生等を行う国際非政府間組織（NGO）。本拠地はパリ。
自然遺産候補・・・国際自然保護連合（IUCN）が審査。IUCNは、野生生物の保護、自然環境及び自然資源の保全に係る調査研究、途上地域への支援等を行う国際機関。本拠地はグラン（スイス）。



諮問機関

- ⑤推薦資産を審査し、世界遺産センターに審査結果と提言を報告【約1年半】



ユネスコ世界遺産センター

- ⑥諮問機関からの勧告（審査結果と提言）を世界遺産委員会及び世界遺産条約締約国に伝達【例年5月頃】



ユネスコ世界遺産委員会

- ⑦諮問機関からの勧告を基に世界遺産リストに登録の可否を決議【推薦翌年の6～7月】
※世界遺産委員会では、他に「危機にさらされている世界遺産リスト」の作成やリストに登録された遺産の保全状況の審査、世界遺産基金の効果的な運用の検討なども行う。
※世界遺産委員会委員国は、世界遺産条約締約国の中から、世界の異なる地域及び文化が均等に代表される様に選ばれた21カ国で構成される。任期は原則6年で、2年に1回開かれる世界遺産条約締約国総会で改選される。



世界遺産登録



【参考】ユネスコ世界遺産センターホームページ（英語）

<http://whc.unesco.org/>